

5. 災害による通行止め影響評価

災害による通行止め事象

吉野川橋の右岸側堤防道路(県道15号徳島吉野線)

5. 災害による通行止め影響評価：吉野川橋の右岸側堤防道路

【吉野川橋の右岸側堤防道路通行止め事象 概要】

- 令和5年9月11日(月)の早朝からの大雨影響により、吉野川の河川水量が増水。吉野川橋の右岸側の堤防道路(県道15号徳島吉野線)が冠水し、通行止めによる交通規制が発生。
- 通行止めによる規制時間：令和5年9月11日(月) 7:50~9:10 (混雑解消 9:30頃)
- 規制の対象となった堤防道路は、平常時であれば、主要渋滞箇所 吉野川橋南詰交差点の迂回路として利用できる。
- 堤防道路が通行止めになることで、東西方向の交通が全て吉野川橋南詰交差点に流入したことで、長い区間で速度低下が発生。

▼吉野川橋南詰交差点における流動変化▼



【問題点】

- 堤外地に幹線道路が整備されていることから、集中豪雨等の影響による浸水リスクが高い。
- 県道15号徳島吉野線から国道192号等へ迂回するための、南北方向の道路が不足。
- 右岸側堤防道路が浸水し、1時間通行止めになるだけでも、徳島市都市圏の北部エリアで、約1,000万円※の経済損失が発生。

※交通影響が確認された道路を対象(下図 速度差分図:交通影響対象路線)
 【損失額の算出】交通量:令和3年全国道路・街路交通情勢調査結果
 損失時間:ETC2.0プローブデータ(速報値 令和5年9月4日、11日 各8時台)
 時間価値原単位:費用便益分析マニュアル(令和4年)
 乗用車類(46.54円/分・台)、普通貨物車(76.94円/分・台)

【解決策】

- 堤内地に、新たな東西方向の幹線道路を整備する。
- 交通分散や有事の際における迂回路も確保すべく、南北方向の交通確保の検討。

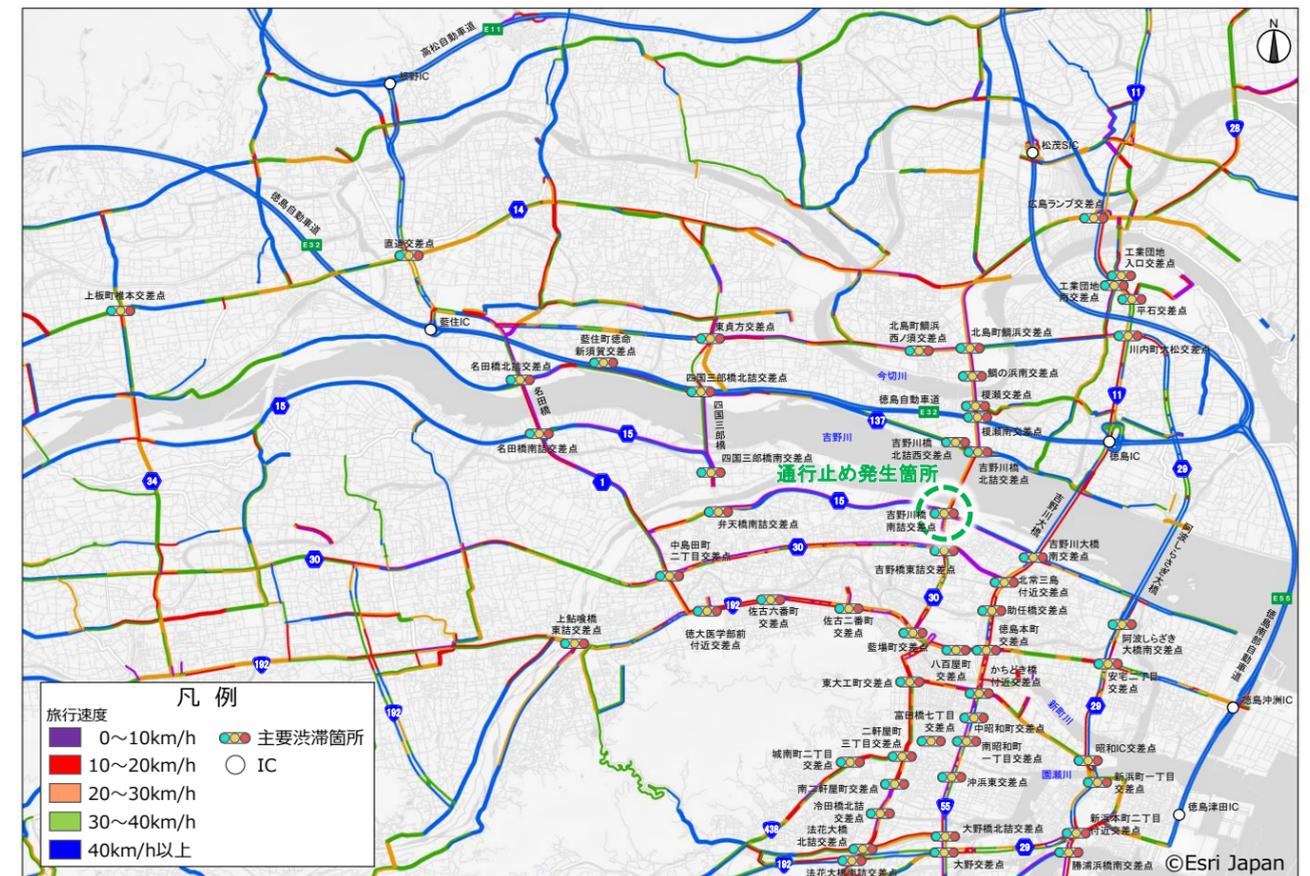
▼【速度差分図】8時台



▼【平常時】令和5年9月4日(月)8時台



▼【災害発生時】令和5年9月11日(月)8時台 ※吉野川橋の右岸側堤防道路通行止め時



※平常時・災害発生時双方とも旅行速度が確認できているリンクのみ対象(速度差:平常時の旅行速度-災害発生時の旅行速度)

出典:ETC2.0プローブデータ(速報値)